

## 1. 未来ビークルシティリサーチセンター第17回シンポジウム開催報告

未来ビークルシティリサーチセンター  
低炭素社会と安全・安心コア  
電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

低炭素社会実現に向けて、高性能二次電池を用いた環境先進車両の開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。このような背景の下、平成25年12月9日に本学において、『「電池が拓く新しいビークル社会」ーその後5年の歩みと、今後の展望ー』と題して、未来ビークルシティリサーチセンター第17回シンポジウムを開催致しました（別添プログラム参照）。

5年前に本学で開催したシンポジウムでは、「電池が拓く新しいビークル社会」を主題として、高性能二次電池の開発・車載応用ならびにプラグインハイブリッド車・電気自動車など次世代自動車の現状と将来に関して議論致しました。今回は、その後5年の歩みを振り返るとともに今後の展望について、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きました。

まず始めに、xEVの市場展望と電池業界の課題について、(株)野村総合研究所 風間氏よりお話を伺いました。続いて、日産自動車(株)が推進するバッテリーの高エネルギー化に向けた材料課題と解析技術について、日産自動車(株) 秦野氏にご講演頂くとともに、パナソニック(株) 湯浅氏に、パナソニック(株)でのビークル社会への貢献と将来動向についてご紹介頂きました。

当日は、学外から83名、学内から53名、計136名の参加者があり、質疑応答においても活発な議論がなされ、盛会のうちに講演会を終了致しました。

末尾ながら、本シンポジウム開催に当たりご協力頂きました関係各位に厚くお礼申し上げます。



風間 智英 氏  
(株)野村総合研究所



秦野 正治 氏  
(日産自動車(株))



湯浅 浩次 氏  
(パナソニック(株))

三遠南信クラスター推進会議・次世代用輸送機器産業クラスタープロジェクト

豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター  
第17回シンポジウム



# 「電池が拓く 新しいビークル社会」

## — その後5年の歩みと、今後の展望 —

低炭素社会実現に向けて、高性能二次電池を用いた環境先進車両の開発とその実用化・普及促進が、これまで以上に求められています。

5年前に本学で開催したシンポジウムでは、「電池が拓く新しいビークル社会」を主題として、高性能二次電池の開発・車載応用ならびにプラグインハイブリッド車・電気自動車など次世代自動車の現状と将来に関して議論致しました。今回は、その後5年の歩みを振り返るとともに今後の展望について、この分野の第一線でご活躍中の方々にご講演頂きます。

平成 25年

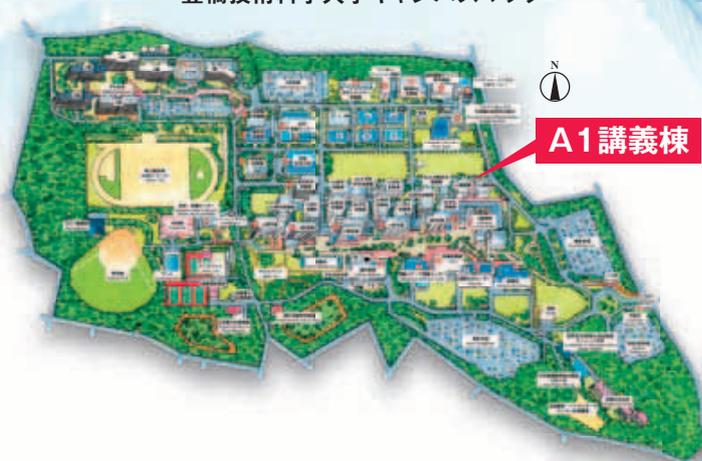
12月9日 月

時間: 13:30~16:20

豊橋技術科学大学

A1講義棟 A1-301

豊橋技術科学大学キャンパスマップ



■主催：豊橋技術科学大学 未来ビークルシティリサーチセンター、三遠南信クラスター推進会議

■後援：豊橋市、田原市、豊橋商工会議所、田原市商工会、東三河産業創出協議会

■協賛：電気化学会電池技術委員会、電気化学会東海支部、電気学会東海支部、IEEE 名古屋支部、自動車技術会

時 間	プログラム	講演者
13:30～ 13:35	開会挨拶	豊橋技術科学大学 副学長 未来ピークルシティリサーチセンター長 角田 範義
13:35～ 14:25	【講演1】 「xEVの市場展望と電池業界の課題」	(株)野村総合研究所 グローバル製造業コンサルティング部 上級コンサルタント 風間 智英氏
14:25～ 14:35	休 憩	
14:35～ 15:25	【講演2】 「バッテリーの高エネルギー化に向けた 材料課題と解析技術」	日産自動車(株)総合研究所 先端材料研究所 主管研究員 秦野 正治氏
15:25～ 16:15	【講演3】 「パナソニックでのピークル社会への 貢献と将来動向」	パナソニック(株) オートモーティブ&インダストリアルシステムズ社 技術本部 エナジー開発C 技術企画G グループマネージャー 湯浅 浩次氏
16:15～ 16:20	閉会挨拶	豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 教授 櫻井 庸司

- 参加 費：無料
- 参加申込 〆切：平成25年12月2日(月)
- 申込 方法：氏名・所属・連絡先を明記のうえ、E-mail または FAX にて下記まで。
- 申込 先：豊橋技術科学大学 未来ピークルシティリサーチセンター(研究協力課研究センター係)  
E-mail: rcfvc@office.tut.ac.jp、Tel. : 0532-44-6574、FAX : 0532-44-6568  
三遠南信クラスター推進会議 事務局 豊橋商工会議所経営革新サポートチーム  
E-mail:matsuzaka@toyohashi-cci.or.jp、Tel. : 0532-53-7211、FAX : 0532-53-7210
- 世話人・問合せ先：豊橋技術科学大学 電気・電子情報工学系 櫻井庸司  
E-mail: sakurai@ee.tut.ac.jp、Tel./FAX : 0532-44-6722

【申 込 書】

豊橋技術科学大学研究協力課研究センター係 行 [ FAX.0532-44-6568 ]

「電池が拓く新しいピークル社会」— その後5年の歩みと、今後の展望 — 【12月9日(月)】

事業所名			
参加者氏名		役職	
参加者氏名		役職	
所在地	〒		
TEL		FAX	
E-mail			

上記申込書に、事業所名、氏名、所在地、電話番号、FAX 番号をご記入の上、郵送または FAX にてお申し込みください。上記 E-mail アドレスに送っていただいても結構です。  
ご記入いただいた情報は、豊橋技術科学大学および商工会議所からの各種連絡・情報提供のために利用するほか、セミナー参加者の実態調査・分析のために利用することがあります。

# 電池の未来と課題など講演

## 9日豊橋技科大でシンポ

豊橋技術科学大  
学(豊橋市天伯町、  
榊佳之学長)未来  
ビークルシテイリ  
サーチセンターは  
9日午後1時半か  
ら、同大学講義棟A  
1-301教室で、

「電池が拓く新しい  
ビークル社会」をテ  
ーマに、同センター  
第17回シンポジウ  
ムを開く。三遠南信  
クラスター推進会  
議との共催。  
シンポジウムで

は、野村総合研究所  
の風間智英氏が「x  
EVの市場展望と電  
池業界の課題」を講  
演。続いて、日産自  
動車総合研究所の秦  
野正治氏が「バッテ  
リーの高エネルギー  
化に向けた材料課題  
と解析技術」につい  
て、最後にパナソニ  
ックの湯浅浩次氏が  
「パナソニックでの  
ビークル社会への貢  
献と将来動向」を話  
す。

参加費無料。問い  
合わせは、同大学電  
気・電子情報工学系  
櫻井庸司教授に電話

0532(44)67  
22まで。

(石川正司)